

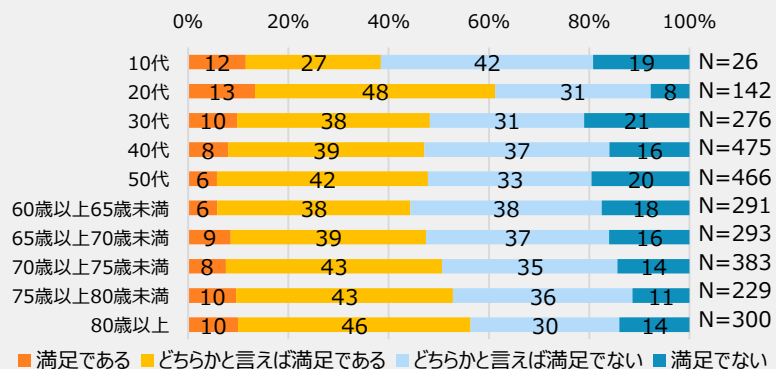
第2回懇話会での意見への対応

【属性別の満足度の把握】

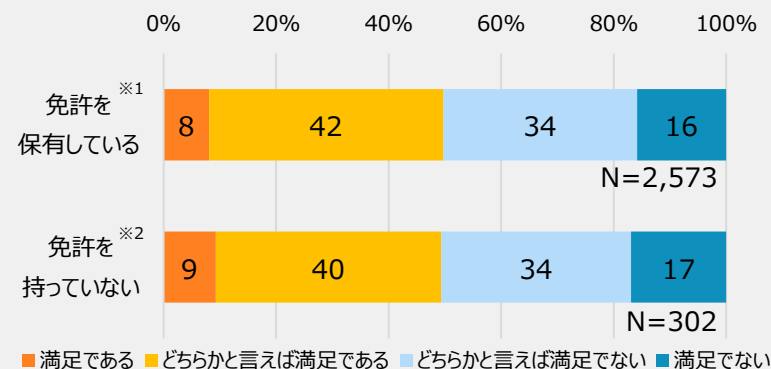
- 年代別 : 20代の満足度が最も高く、年齢が高くなるほど高くなる傾向
- 免許保有別 : 満足度に差はほとんどみられない
- 利用有無別 : 公共交通利用者の方が少し満足度が高い
- 必要性別 : **公共交通が「必要でない」と考える回答者の約8割が満足していない**
- 運行間隔別 : 運行間隔が短いエリアの居住者ほど満足度が高く、「20分に1本以上」よりも運行間隔が長くなると、満足度が大きく低下し、以降は運行間隔の長短によらず満足度は一定

公共交通の必要性を高めるために、満足度の向上が必要であり、そのためには、ある程度のサービスレベルの確保が必要

▼年代別の公共交通に対する満足度



▼免許保有別の公共交通に対する満足度

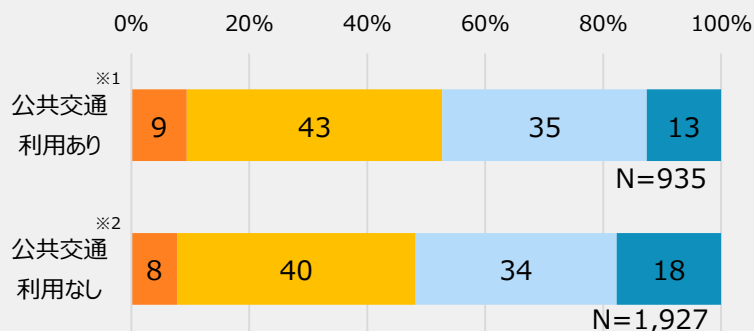


※1 「免許保有状況」について、「現在保有している」「返納予定である」を選択

※2 「免許保有状況」について、「以前持っていたが、現在は保有していない」「一度も保有したことはない」を選択

第2回懇話会での意見への対応

▼利用有無別の公共交通に対する満足度

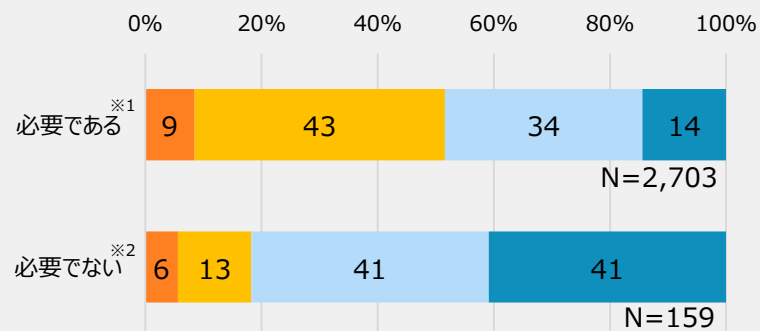


■ 満足である ■ どちらかと言えば満足である ■ どちらかと言えば満足でない ■ 満足でない

※1 「鉄道、バスの利用頻度」について、「ほぼ毎日」「週に3~4日程度」「週に1~2日程度」「月に数日程度」を選択

※2 「鉄道、バスの利用頻度」について、「年に数日程度」「ほぼ使わない」「使ったことはない」を選択

▼必要性別の公共交通に対する満足度

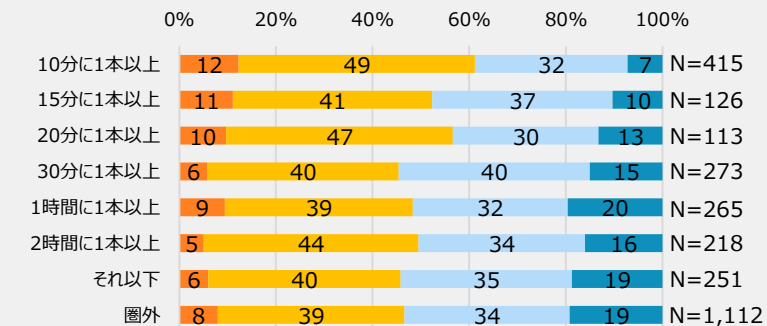


■ 満足である ■ どちらかと言えば満足である ■ どちらかと言えば満足でない ■ 満足でない

※1 「公共交通の必要性」について、「必要である」「どちらかと言えば必要である」を選択

※2 「公共交通の必要性」について、「どちらかと言えば必要でない」「必要でない」を選択

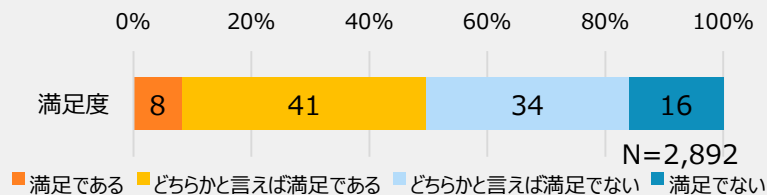
▼運行間隔別の公共交通圏域※3内別の公共交通に対する満足度



■ 満足である ■ どちらかと言えば満足である ■ どちらかと言えば満足でない ■ 満足でない

※3 鉄道800m圏およびバス300m圏

▼参考：公共交通に対する満足度



■ 満足である ■ どちらかと言えば満足である ■ どちらかと言えば満足でない ■ 満足でない

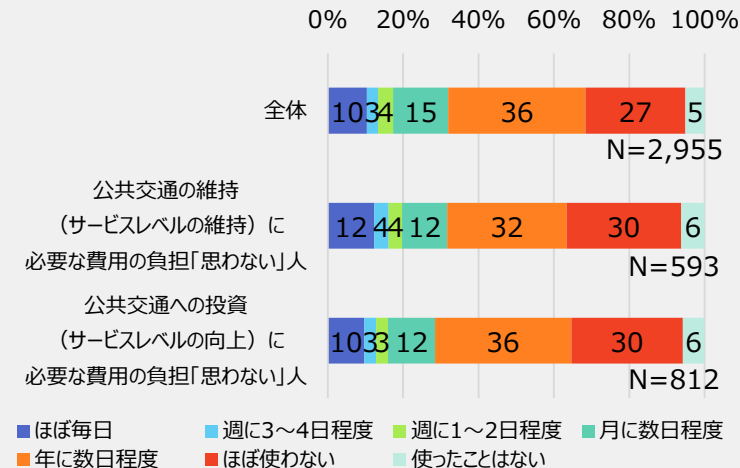
第2回懇話会での意見への対応

【費用負担に対して否定的な回答者の公共交通の利用頻度】

○否定的な回答者の約7割が公共交通の利用頻度について「年に数日程度」以下と回答しているが、全体と比較して大きな差はみられない

**公共交通の利用頻度と費用負担の意向について、関係性はみられない
(公共交通を使っていないから否定的ということではない)**

▼公共交通の利用頻度



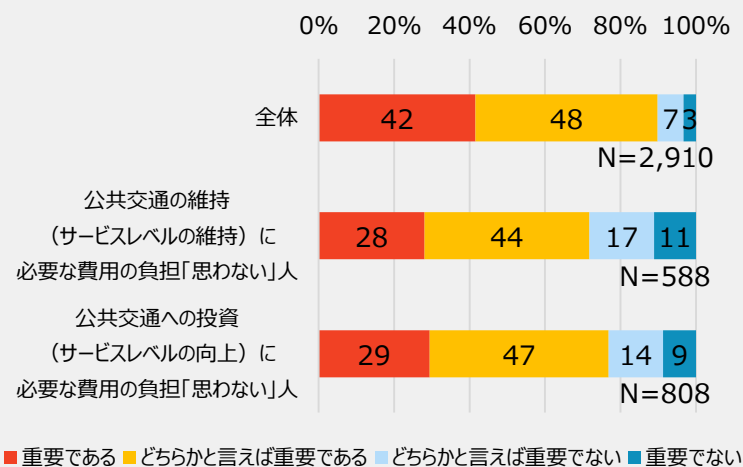
第2回懇話会での意見への対応

【費用負担に対して否定的な回答者の公共交通の意向】

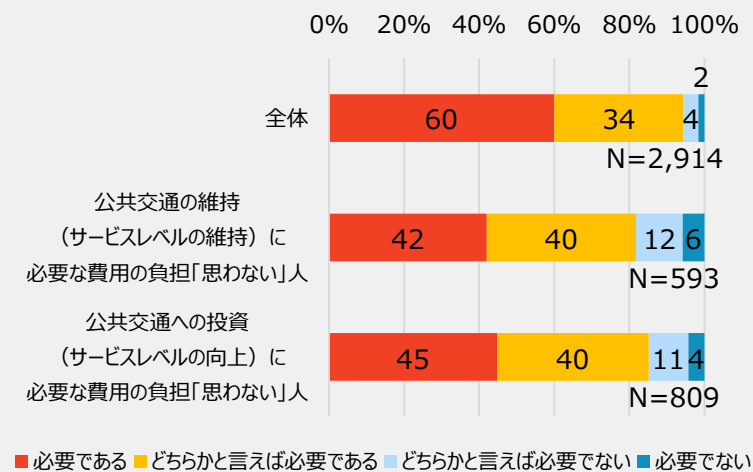
○否定的な回答者の約7割が公共交通を重要と回答し、約8割が必要と回答

費用負担の意向に関わらず、公共交通の重要性、必要性は高い

▼公共交通に対する重要度



▼公共交通の必要性



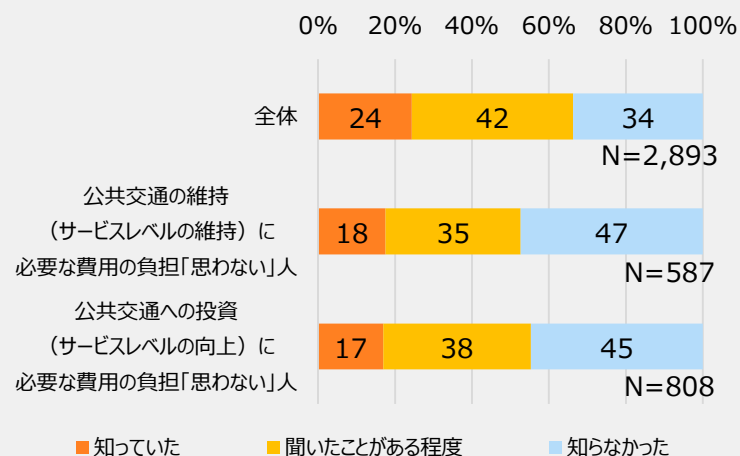
第2回懇話会での意見への対応

【費用負担に対して否定的な回答者の多面的な効果の認知度・重要度】

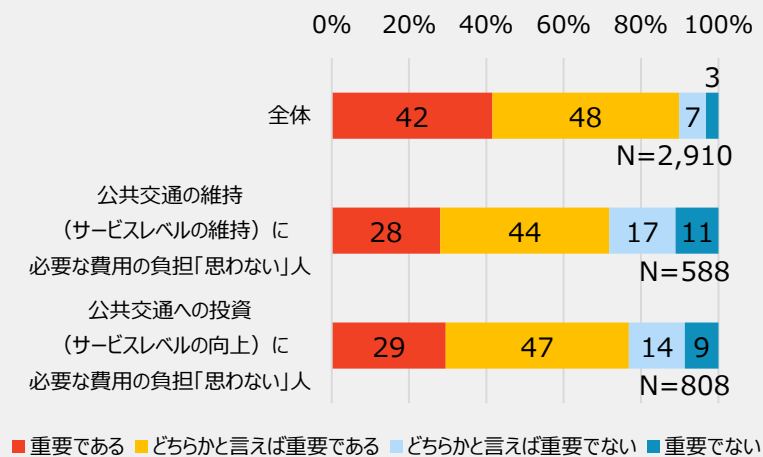
- 多面的な効果の認知度について、否定的な回答者の約5割が「知らなかった」と回答しており、全体と比較して割合が高い
- 多面的な効果の重要度について、否定的な回答者の約7~8割が「どちらかと言えば重要」「重要」と回答しているが、全体と比較すると割合が低い

費用負担に対して否定的な回答者でも、多面的な効果の重要度は高いため、費用負担の意向に関わらず、公共交通の多面的な効果の重要性は高い（全体と比較すると重要度は低下傾向）

▼多面的な効果の認知度



▼多面的な効果の重要度



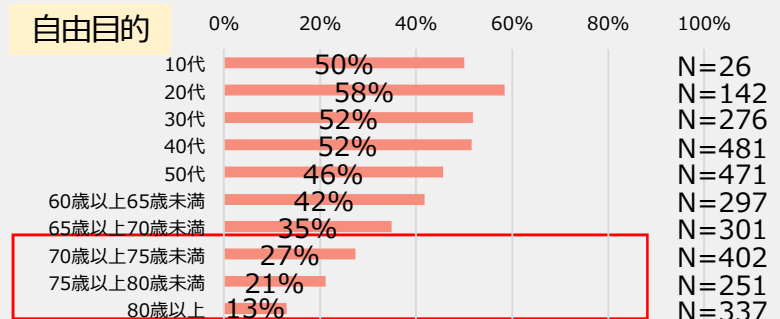
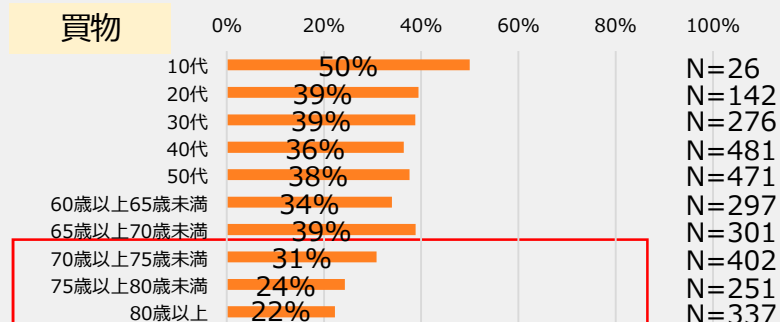
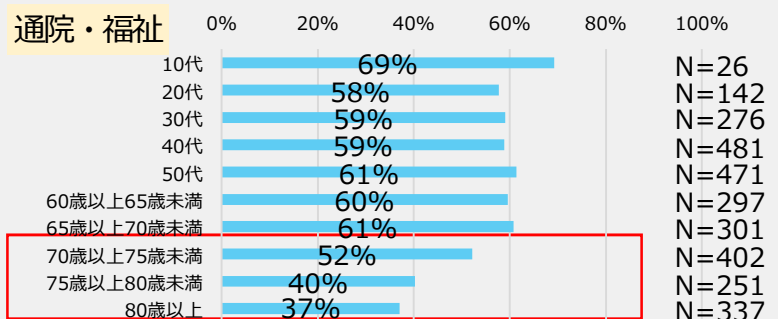
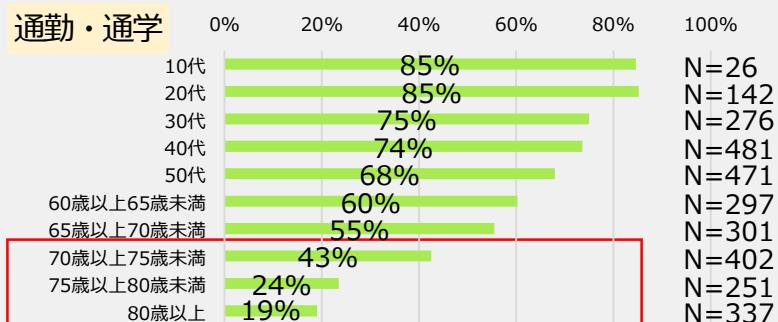
第2回懇話会での意見への対応

【70歳以上で公共交通が担うべきと回答した割合が低い要因】

○公共交通の必要性は高いものの、自身の移動に関しての必要性としてはそこまで高くない傾向

現状自動車利用等、移動に困っていないことから将来的にも困らないという考えから担うべきと回答した割合が低い可能性
⇒移動できなくなる可能性を考慮すると、高齢者の移動は担う必要あり

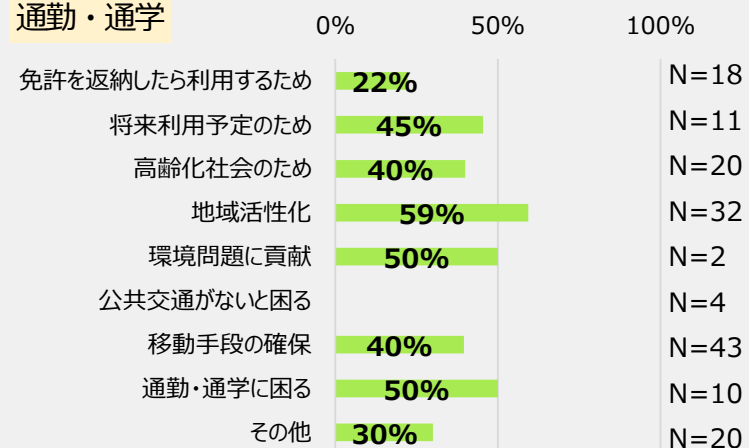
▼年齢階層別の公共交通が担うべきと回答した割合



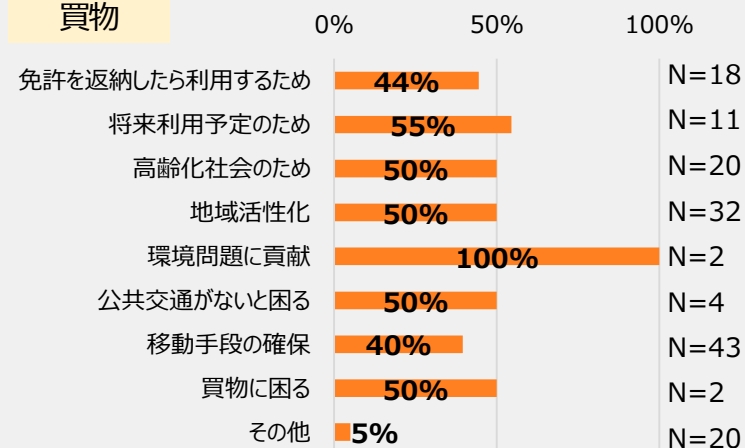
第2回懇話会での意見への対応

▼70歳以上で公共交通が「必要である」と回答した人の意見

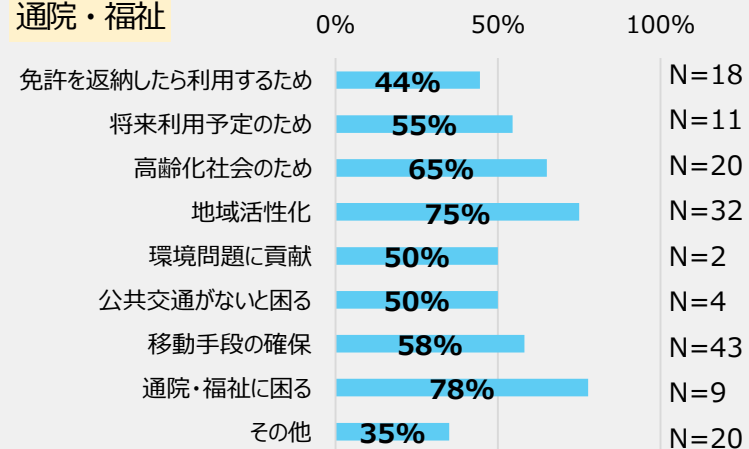
通勤・通学



買物



通院・福祉



自由目的

